

栄養サポートチーム (NST) 専門療法士

～If the gut works, use it!～

薬剤部 主任補 内藤 由宇奈



### NST (Nutrition Support Team)

当院では 2004 年に NST が発足しました。主な活動として、週 1 回の回診や毎月の委員会、地域連携 NST 勉強会・講演会などを行っています。

栄養状態不良や経管栄養の方に NST 依頼が入り、5～10名の患者さんを約 2 時間かけて回診しています。食事摂取の状況や身体情報などの主観的評価や投与中の薬剤、Alb・ChE などの栄養障害の程度を見る生化学データ等の客観的評価を複合して評価し、必要栄養量の計算や栄養管理の提案を行います。

腸管は約 7 割の免疫細胞が集結した最大の免疫臓器であるため、早期に消化管を使用した経腸栄養の開始は感染性合併症や在院日数の短縮に繋がります。消化管を使用した栄養管理の提案を積極的に行い、嚥下機能を確認し、経口摂取へ提案も行います。

### 薬剤師の役割

多職種が専門の知識を活かし NST 活動をする中、薬剤師は輸液処方設計や消化器症状・電解質に影響を及ぼす薬剤の投与の確認、経腸栄養剤や輸液と薬物間の相互作用確認等に寄与しています。中心静脈栄養はキット製剤が主流になっていますが、栄養状態に問題がある場合は個別化した輸液の組み合わせが必要になり、各輸液の特性についての知識が必要になります。

また、重症患者の栄養管理や、がん患者の介入も多く、抗がん剤の特性や副作用、鎮痛・鎮静剤の知識やその他幅広い薬剤の知識が必要なため、薬剤師の介入が必須と言えます。

### NST 専門療法士

NST 専門療法士は日本臨床栄養代謝学会が認定する資格制度で、実地研修や一定の条件を満たし、試験に合格すると取得できます。当

院は NST 専門療法士の実地修練認定教育施設になっており、私も当院で研修を受けました。

2024 年に「臨床栄養代謝専門療法士」という上位資格も新設予定で、栄養療法の重要性は増していくと考えられます。栄養管理はすべての医療の基本であることを念頭に、今後も NST 活動の啓蒙をしていきたいと思っています。

#### 【臨床栄養代謝専門療法士の区分】

- ①がん専門療法士
- ②肺疾患専門療法士
- ③肝疾患専門療法士
- ④腎疾患専門療法士
- ⑤リハビリテーション専門療法士
- ⑥在宅専門療法士
- ⑦小児領域専門療法士
- ⑧摂食嚥下専門療法士
- ⑨周術期・救急集中治療専門療法士

の9領域。  
専門領域の取得は1領域に限定される。

※詳細は日本臨床栄養代謝学会HPをご参照ください

matsuyama.shimin.hsp

## 機能だけでなく見た目も最先端の当院の放射線機器

放射線室 主任補 診療放射線技師 高須賀 弘喜

### # ポップでカラフルなX線発生装置

病院内で診療放射線技師が押している重そうな車、一度はご覧になった方もいらっしゃるかと思います。

あの機械は移動式X線発生装置(ポータブルX線発生装置:ポータブル)という、病室から移動できない患者さんを撮影するためのX線発生装置です。重さは約400kg。

当院では、FUJIFILM社製のポータブルを使用しています。ご注目いただきたいのはカラーリング。ピンク、イエロー、グリーン、ブルーのカラフルでバリエーション豊富な4色。しかもラメ入りでとてもポップなんです♪

ラメ入りのカラフルな機械、院内で探してみてください!



★ Sirius Starmobile tiara airy ★

### # 流行のLEDを装飾したCT、MRI

最近では自動車の装飾として使用され、デザイン性向上にも一役をかってているLED。実は当院のCT、MRIでも装飾として搭載されています。

装飾はCTやMRI自体の機能には全く関係ありませんが、当院のCT、MRIは機能的にも先端の技術を擁しています。検査の際には少しだけ注目していただくと幸いです。

